

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年10月15日

仙台市・荒町児童館

今日の内容は、白く塗った布地の芯に使われている長い紙筒に絵を描いたり、シールやテープを貼ったりしてそれぞれの作品を仕上げたあと、その筒をつないで、声を運ぼうというもの。

参加人数が減った分、ひとりで2本、3本と一気に仕上げる猛者も現れます。

やはり荒町児童館でも、金色銀色は大人気。折り紙からシール、ポスカまで、みんなで必死に金銀のものを探すさまにはなんだか笑っちゃいました。数が少なくなると、子どもたち同士で譲ったり譲られたりという姿も微笑ましい限りです。先生の忠告もあり、丸筒を振り回す子も荒町児童館は少なかったですね。

それぞれが思い思いの作品をつくり上げるまでは、穏やかな会場だったのです。

が、それをつないで長い筒にする段になりましたら、遠くまで声が聞こえることを確かめた子どもたちが、何やら興奮！しはじめ、だんだんとこの筒で起こることに、夢中になってゆく様子が愉快です。

自然発生的に、布ガムテープで筒をつなぐ係。声漏れ箇所点検係。作業が終わったブルーシートの上に残ったものを片付ける係。などに別れ、それぞれの担当をこなしてゆく様も見事でした。みんなの筒をつないで、となりの市民センターのスペースまでのばしたのに、

最後まで自分がつくった3本の筒を断固としてつなごうとしなかった男の子も最後には友達の言葉に促され、ガムテープでつなぐれ、彼ら曰く「30m!」?の声を運ぶ長〜い紙筒作品は出来上がったのでした。

